

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 3 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	運営推進会参加メンバーの朝倉連合防災会が主軸となっている地域の避難所開設等の訓練へ事業所職員が積極的に参加することや、具体的な計画を作成し、事業所防災訓練に地域住民、家族に参加してもらえるようにすることが課題となっている。	地域の防災訓練に職員が積極的に参加して交流を深め、事業所防災訓練での具体的な役割分担を計画して、地域住民、家族に参加してもらえるようになる。	①職員が地域の避難訓練等、積極的に参加できるよう取り組む。②地域住民、家族、職員参加の防災研修(高知市の出前講座等を活用)やアンケート行い、意識を高める。③事業所防災訓練の具体的な役割分担を行う。④事業所防災計画に携わる人員を増やす。	12ヶ月
2	13	身体拘束、高齢者虐待防止の観点から、職員間で利用者支援における言葉使いや表情等に関する意識が高まっており、事業所理念に基づき、職員一人ひとりが考え、その人らしさを追求する意識を統一し、浸透させることが課題である。	利用者と接する際の言葉使いや表情について、職員全員が協力し、職員間で利用者の状態などの情報を共有して、より過ごしやすい環境を提供できるよう意識の統一を図る。	①定期的に研修を行うとともに、毎月のユニット会で支援、対応についての意見交換を積極的に行い、意識の統一を図る。②職員全員で協力し、利用者の意思を尊重できているか等、ケア方針を考える。③近隣の散歩やゴミ拾いなどに参加する等、外出の機会を増やす。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月